

新潟県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました(今シーズン5例目)!

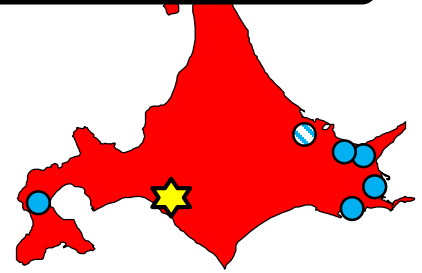
～どこで発生してもおかしくない状況です～

- ウイルスに感染した渡り鳥が国内に広く飛来しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (令和6年シーズン)

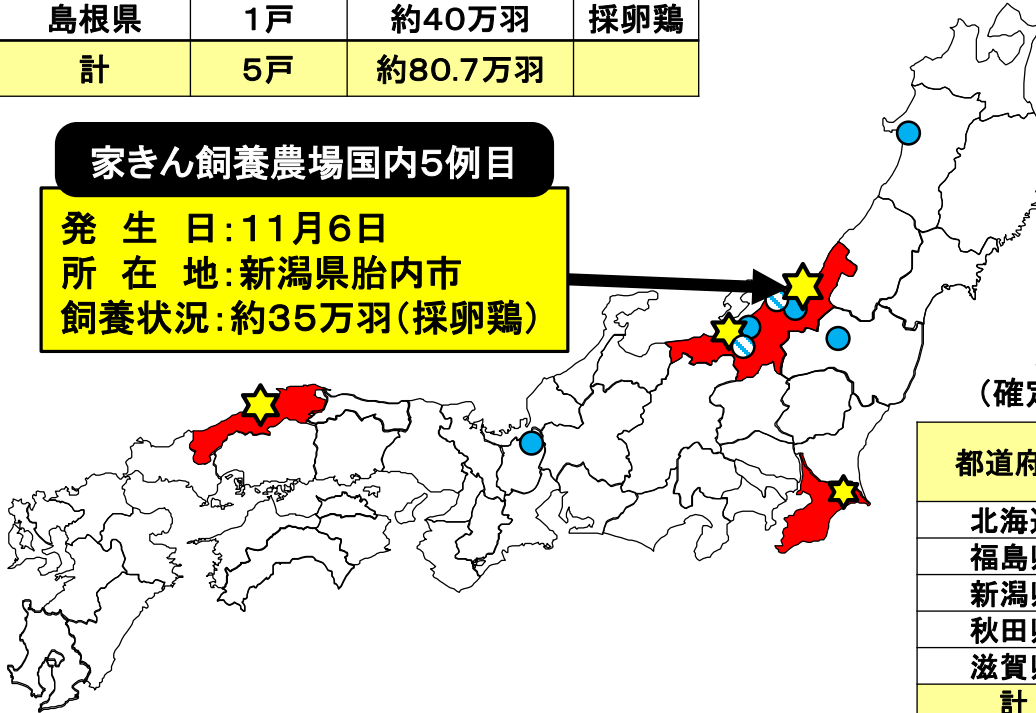
★ 家きん飼養農場での発生(4道県5事例)

都道府県	発生戸数	飼養羽数	
北海道	1戸	約2.0万羽	肉用鶏
千葉県	1戸	約3.7万羽	採卵鶏
新潟県	2戸	約35万羽	採卵鶏
島根県	1戸	約40万羽	採卵鶏
計	5戸	約80.7万羽	



家きん飼養農場国内5例目

発 生 日: 11月6日
 所 在 地: 新潟県胎内市
 飼 養 状 況: 約35万羽(採卵鶏)



野鳥での発生 (確定: 5道県10事例)

都道府県	事例数	
	● 確定	● 疑い
北海道	5	1
福島県	1	
新潟県	2	2
秋田県	1	
滋賀県	1	
計	10	3

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。